



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月29日

上場会社名 ローム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6963 URL <https://www.rohm.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 CEO (氏名)松本 功  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 CSO 兼 (氏名)伊野 和英 TEL 075-311-2121  
 経理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	125,112	12.5	22,525	47.6	35,261	115.7	26,105	124.9
2022年3月期第1四半期	111,254	37.4	15,265	152.4	16,349	205.1	11,606	60.0

(注)包括利益 2023年3月期第1四半期 48,231百万円(444.2%) 2022年3月期第1四半期 8,863百万円(△46.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	266.01	257.92
2022年3月期第1四半期	118.27	114.48

#### (2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,059,865	877,764	82.8
2022年3月期	1,029,132	840,353	81.6

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 877,225百万円 2022年3月期 839,817百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	75.00	—	110.00	185.00
2023年3月期	—				
2023年3月期(予想)		100.00	—	100.00	200.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	252,000	13.2	39,000	13.0	36,000	△4.9	32,000	3.9	326.07
通期	510,000	12.8	76,000	6.3	74,000	△10.4	60,000	△10.2	611.38

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	103,000,000 株	2022年3月期	103,000,000 株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	4,861,293 株	2022年3月期	4,861,656 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	98,138,427 株	2022年3月期1Q	98,135,314 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(四半期連結損益計算書) .....	6
(四半期連結包括利益計算書) .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

※ 補足説明資料としまして、「2023年3月期 第1四半期決算概要」を別途添付しております。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### 業績の全般的概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中国におけるゼロコロナ政策やロシアによるウクライナ侵攻による影響もあり、回復の勢いは弱まってきております。

エレクトロニクス業界におきましては、民生機器関連市場は新型コロナウイルス感染症による巣ごもり需要等の一巡による需要の減少が見られましたが、自動車関連市場は自動車減産の影響があったものの、脱炭素社会に向けた電動化・電装化の拡大や半導体市場への需要が継続し順調に推移しました。また、産業機器関連市場でも各国における工場の自動化・デジタル化投資が拡大し、為替変動の影響も合わせり全体としては堅調に推移しました。

このような経営環境の中、電動化へのシフトが期待される自動車関連市場や、中長期的に成長が期待される産業機器関連市場などに向けてロームグループが強みを持つ「パワー」、「アナログ」及び「汎用デバイス」の新製品・新技術の開発を進め、お客様の省エネ・小型化に広く貢献できるトータルソリューションでの提案を推進しました。

生産面においても、全社最適化を進めるとともに、「モノづくり改革」による省人化・自動化ラインの構築を推し進めました。また、急増する受注に対応した生産能力増強や生産性向上を進めるなど、お客様への安定供給に努めました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は自動車関連市場及び産業機器関連市場を中心に増加し、前年同期比12.5%増の1,251億1千2百万円、営業利益は前年同期比47.6%増の225億2千5百万円となりました。当第1四半期連結累計期間の営業利益率は前第1四半期連結累計期間の13.7%から18.0%に上昇しました。

経常利益につきましては営業利益の増加に加え、為替差益の増加により、前年同期比115.7%増の352億6千1百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比124.9%増の261億5百万円となりました。

またロームグループで重視している経営指標について、当第1四半期連結累計期間のEBITDA（※）は前年同期比39.2%増の341億5千1百万円となりました。

※ EBITDA (Earnings Before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization)

税引前利益に支払利息、減価償却費を加えて求めたもの。グローバル企業などの収益力を比較する際によく利用される指標。ロームグループでは簡易的に営業利益に減価償却費を加えて算出しております。

#### 業績のセグメント別概況

##### <LSI>

市場別では、自動車関連市場向けで、インフォテインメントやカーボディ向けの電源ICなどが好調であったことに加え、ADAS向けの新製品や電動車向けの絶縁ゲートドライバICなど高付加価値商品が順調に売上を伸ばしました。また、産業機器関連市場向けで、旺盛な設備投資によりFA向けなどが好調に推移しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は547億3千9百万円（前年同期比11.2%増）、セグメント利益は106億1千7百万円（前年同期比68.7%増）となりました。

##### <半導体素子>

事業セグメント別では、ダイオード、パワーデバイスにつきましては、自動車関連市場向けを中心に好調に推移し、トランジスタにつきましては産業機器関連市場向けで堅調に推移しました。また、発光ダイオードにつきましては、民生機器関連市場向けで売上が増加しましたが、半導体レーザーにつきましては、民生機器関連市場向け等で売上が減少しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は536億5千4百万円（前年同期比14.0%増）、セグメント利益は89億3千4百万円（前年同期比37.8%増）となりました。

##### <モジュール>

事業セグメント別では、プリントヘッドにつきましては、プリンタ向けなどで売上が増加しました。オプティカルモジュールにつきましては、通信機器向けなどでセンサモジュールの売上が減少しましたが、産業機器関連市場向けなどで売上が増加しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は89億8千3百万円（前年同期比12.8%増）、セグメント利益は14億1千6百万円（前年同期比33.8%増）となりました。

<その他>

事業セグメント別では、抵抗器につきましては、自動車関連市場向けが好調に推移し、タンタルコンデンサにつきましては、PC向けなどで売上が増加しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は77億3千5百万円（前年同期比10.5%増）、セグメント利益は13億7千2百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

上記「業績のセグメント別概況」の記載は、外部顧客に対するものであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産は、前連結会計年度末に比べ307億3千3百万円増加し、1兆598億6千5百万円となりました。主な要因といたしましては、有形固定資産が174億5百万円、現金及び預金が124億1千9百万円、棚卸資産が119億6千4百万円、受取手形及び売掛金が84億8千2百万円、それぞれ増加した一方、有価証券が180億5千8百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ66億7千7百万円減少し、1,821億1百万円となりました。主な要因といたしましては、未払金が74億5千6百万円、未払法人税等が17億6千7百万円、それぞれ減少した一方、流動負債のその他が12億5千1百万円（うち設備関係電子記録債務が11億3千7百万円）、支払手形及び買掛金が6億4千7百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ374億1千1百万円増加し、8,777億6千4百万円となりました。主な要因といたしましては、為替換算調整勘定が263億3百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により株主資本が153億1千3百万円、それぞれ増加した一方、その他有価証券評価差額金が43億2千万円減少したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の81.6%から82.8%に上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻やインフレリスクへの懸念など、依然として不透明な状況が続くものと思われまます。エレクトロニクス市場においては、省エネや電装化の促進、各国における工場の自動化・デジタル化投資などにより順調に推移するものと思われまますが、世界情勢の悪化に加えエネルギーや資材価格の高騰等による材料費や経費のコストアップリスク、製造に必要な希ガスや希少金属の供給不足リスク、新型コロナウイルス感染症の再流行リスクがあり予断を許さない状況が続くものと思われまます。

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上及び営業利益につきましては、期初の業績予想から大きな変化が生じておりませんが、為替レートが想定よりも円安傾向で推移したことにより経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については上期の業績予想を概ね達成する状況で推移しております。ただ、第2四半期以降のエレクトロニクス市場については各国の動向や半導体の需給状況、為替レートの見通しについて依然として不透明な部分があり、当期の連結業績予想につきましては、「2022年3月期決算短信」において発表した予想から変更しておりません。

今後、既に公表した業績予想に対する変更が必要と判断される際には、改めて業績予想の修正を行います。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	293,144	305,563
受取手形及び売掛金	100,151	108,633
電子記録債権	8,644	8,848
有価証券	49,256	31,198
商品及び製品	39,678	42,614
仕掛品	61,675	66,925
原材料及び貯蔵品	53,135	56,913
未収還付法人税等	1,026	1,099
その他	13,342	17,530
貸倒引当金	△49	△56
流動資産合計	620,004	639,271
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	280,843	290,447
機械装置及び運搬具	664,295	700,883
工具、器具及び備品	57,176	59,526
土地	68,421	68,806
建設仮勘定	41,760	44,159
その他	8,543	9,250
減価償却累計額	△828,950	△863,578
有形固定資産合計	292,090	309,495
無形固定資産		
のれん	795	720
その他	4,471	4,554
無形固定資産合計	5,266	5,275
投資その他の資産		
投資有価証券	87,506	79,876
退職給付に係る資産	3,176	3,254
繰延税金資産	11,310	12,860
その他	9,846	9,905
貸倒引当金	△69	△73
投資その他の資産合計	111,770	105,823
固定資産合計	409,127	420,593
資産合計	1,029,132	1,059,865

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,105	18,752
電子記録債務	4,929	5,025
未払金	36,131	28,675
未払法人税等	11,472	9,705
その他	35,237	36,488
流動負債合計	105,877	98,648
固定負債		
社債	40,536	40,486
繰延税金負債	28,983	29,356
退職給付に係る負債	11,092	11,416
その他	2,289	2,193
固定負債合計	82,901	83,452
負債合計	188,778	182,101
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	86,969	86,969
資本剰余金	102,411	102,411
利益剰余金	661,386	676,696
自己株式	△39,915	△39,912
株主資本合計	810,851	826,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,314	34,994
為替換算調整勘定	△8,294	18,009
退職給付に係る調整累計額	△2,054	△1,943
その他の包括利益累計額合計	28,965	51,060
非支配株主持分	536	539
純資産合計	840,353	877,764
負債純資産合計	1,029,132	1,059,865

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
（四半期連結損益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	111,254	125,112
売上原価	75,622	78,811
売上総利益	35,632	46,301
販売費及び一般管理費	20,366	23,775
営業利益	15,265	22,525
営業外収益		
受取利息	297	440
受取配当金	378	513
為替差益	235	11,142
その他	223	703
営業外収益合計	1,135	12,799
営業外費用		
支払利息	37	35
和解金	—	16
その他	13	12
営業外費用合計	51	64
経常利益	16,349	35,261
特別利益		
固定資産売却益	35	269
投資有価証券売却益	359	—
補助金収入	100	—
特別利益合計	495	269
特別損失		
固定資産売却損	12	25
固定資産廃棄損	198	35
固定資産圧縮損	100	—
減損損失	32	26
投資有価証券評価損	—	318
特別損失合計	344	405
税金等調整前四半期純利益	16,500	35,125
法人税、住民税及び事業税	3,247	8,024
法人税等調整額	1,641	985
法人税等合計	4,888	9,009
四半期純利益	11,612	26,115
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,606	26,105

（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）
四半期純利益	11,612	26,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,659	△4,319
為替換算調整勘定	△1,372	26,324
退職給付に係る調整額	281	110
その他の包括利益合計	△2,749	22,115
四半期包括利益	8,863	48,231
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,856	48,200
非支配株主に係る四半期包括利益	6	30

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

I 前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	L S I	半導体 素子	モジュー ル	計				
売上高								
国内	18,448	14,169	1,454	34,073	1,116	35,189	—	35,189
アジア	27,000	26,436	5,304	58,741	4,639	63,380	—	63,380
アメリカ	1,887	2,345	555	4,787	574	5,362	—	5,362
ヨーロッパ	1,868	4,128	652	6,650	671	7,322	—	7,322
顧客との契約から 生じる収益	49,205	47,080	7,966	104,252	7,002	111,254	—	111,254
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	49,205	47,080	7,966	104,252	7,002	111,254	—	111,254
セグメント間の内部 売上高又は振替高	547	895	18	1,461	17	1,478	△1,478	—
計	49,752	47,976	7,984	105,713	7,019	112,733	△1,478	111,254
セグメント利益	6,293	6,481	1,058	13,833	1,321	15,155	110	15,265

（注） 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、抵抗器事業、タンタルコンデンサ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額110百万円には、主にセグメントに帰属しない一般管理費△127百万円、セグメントには配賦しない決算調整額（退職給付費用の調整額等）237百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	L S I	半導体 素子	モジュー ル	計				
売上高								
国内	17,899	14,123	1,900	33,924	1,141	35,065	—	35,065
アジア	32,542	30,314	5,922	68,779	5,093	73,872	—	73,872
アメリカ	2,233	2,441	352	5,027	687	5,714	—	5,714
ヨーロッパ	2,063	6,774	807	9,645	812	10,458	—	10,458
顧客との契約から 生じる収益	54,739	53,654	8,983	117,376	7,735	125,112	—	125,112
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	54,739	53,654	8,983	117,376	7,735	125,112	—	125,112
セグメント間の内部 売上高又は振替高	697	887	—	1,585	14	1,599	△1,599	—
計	55,437	54,542	8,983	118,962	7,749	126,712	△1,599	125,112
セグメント利益	10,617	8,934	1,416	20,968	1,372	22,340	185	22,525

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、抵抗器事業、タンタルコンデンサ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額185百万円には、主にセグメントに帰属しない一般管理費△200百万円、セグメントには配賦しない決算調整額（退職給付費用の調整額等）385百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## ローム株式会社 2023年3月期 第1四半期決算概要

(2022年4月1日から2022年6月30日まで)

2022年7月29日

連結業績		(百万円未満切捨て、その他は単位未満四捨五入)											
		23/3期実績		22/3期実績		対前年同期増減		22/3期実績		23/3期計画 (注)1			
		第1四半期 累計期間	第1四半期 累計期間	額	率	通期	通期	通期	通期	対前期 増減率	第2四半期 累計期間	対前年同期 増減率	
売	上	高	百万円	125,112	111,254	+13,858	+12.5%	452,124	510,000	+12.8%	252,000	+13.2%	
売	上	原	価	百万円	78,811	75,622	+3,189	+4.2%	289,803	336,900		163,600	
販売費及び一般管理費		百万円	23,775	20,366	+3,409	+16.7%	90,841	97,100			49,400		
営	業	利	益	百万円	22,525	15,265	+7,260	+47.6%	71,479	76,000	+6.3%	39,000	+13.0%
					(18.0%)	(13.7%)	(+4.3%)	(15.8%)	(14.9%)		(15.5%)		
経	常	利	益	百万円	35,261	16,349	+18,912	+115.7%	82,551	74,000	-10.4%	36,000	-4.9%
					(28.2%)	(14.7%)	(+13.5%)	(18.3%)	(14.5%)		(14.3%)		
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益		百万円	26,105	11,606	+14,499	+124.9%	66,827	60,000	-10.2%		32,000	+3.9%	
					(20.9%)	(10.4%)	(+10.5%)	(14.8%)	(11.8%)		(12.7%)		
( )内は売上高比率													
1株当たり四半期(当期)純利益		円	266.01	118.27	+147.74	+124.9%	680.62	611.38			326.07		
自己資本当期純利益率		%						8.3					
総資産当期純利益率		%						6.8					
1株当たり純資産		円	8,938.62	7,851.07	+1,087.55	+13.9%	8,557.15						
E B I T D A (注)2		百万円	34,151	24,529	+9,622	+39.2%	113,507	139,500	+22.9%		65,700	+23.0%	
設備投資額		百万円	22,079	12,485	+9,594	+76.8%	79,985	100,000	+25.0%		58,000	+112.6%	
減価償却額		百万円	11,625	9,264	+2,361	+25.5%	42,027	63,500	+51.1%		26,700	+41.1%	
研究開発費		百万円	9,574	8,366	+1,208	+14.4%	36,126	41,000	+13.5%		21,700	+23.9%	
グループ従業員数		人	23,914	22,830	+1,084	+4.7%	23,401						
為替レート(US\$期中平均レート) 円/US\$			129.04	110.00	+19.04	+17.3%	112.86	115.57			116.06		

(注) 1. 計画値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 営業利益に減価償却費を加えて算出しております。